

令和5年9月19日

隠岐支庁 農林水産局 農業振興部

標 題

令和5年度隠岐産素牛東京枝肉研究会が開催されました

(ダイジェスト)

令和5年8月28日、東京都中央卸売市場食肉市場で、隠岐産の子牛を県内外の肥育農場が導入・肥育した牛を集めた枝肉研究会が開催されました。東京市場で隠岐産牛の品質をPRするとともに、隠岐産子牛の品質向上に向け、肥育農場と繁殖農場が意見交換を行いました。

8月28日に東京都中央卸売市場食肉市場において、隠岐産の子牛を県内外の肥育農場が導入・肥育した牛を集めた枝肉研究会が開催されました（主催：隠岐農業振興協議会、隠岐牛生産拡大協議会）。この研究会は、首都圏の食肉関係者に隠岐産牛の品質をアピールし、隠岐産牛の認知度向上や新たな子牛購買者の誘致につなげることを目的とし、令和4年度から開催しており、今回が2回目の開催となります。

研究会には、県内外の11農場から去勢牛10頭、雌牛20頭の計30頭が出品されました。その中から、堀川栄市さん（西ノ島町）が生産・育成し、（有）隠岐潮風ファームさんが肥育された枝肉が最優秀賞に選ばれました。出品牛全体での平均枝肉重量は去勢牛が546kg、雌牛が487kg、平均BMS No.は9.5（A5率73%）と素晴らしい成績で、肥育農場の技術によって隠岐産素牛の能力が発揮されました。また、食肉市場内に隠岐地域ならびに隠岐産子牛の紹介ポスターを掲示し、隠岐牛の生産環境も含めて、隠岐産牛の魅力を東京市場でPRすることができました。

当日は、枝肉出品者（肥育農場）のほか、隠岐地域の繁殖農家、関係者など、50名あまりが参加しました。繁殖農家にとっては、生産した子牛の枝肉を実際に確認し、審査講評や肥育農場からの隠岐産牛に対する意見を直接聞くことができ、子牛生産に対する意識・意欲の向上につながるまたとない機会となりました。

この研究会は、肥育農場と素牛生産者が一緒に隠岐産子牛の品質向上と隠岐家畜市場の活性化を進める取組として、今後も関係者が一体となって継続していきます。

